

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	812011	事務事業名	動物園管理運営事業		
担当部・課名	経済産業部 動物園	評価者 (課長)	三浦 英樹	評価責任者 (部長)	弘中 基之

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	701003	分野	7産業・観光	事業の分類	(経常的事務事業)
	基本施策	10観光・コンベンション等による交流の推進			補助・単独の別	単独
	推進施策	(3)魅力ある動物園の推進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	徳山動物園	事業の目的 (意図)	周南市最大の情報発信・交流拠点として、動物園に年間30万人を超える来園者を迎える体制を確保することで、その役割を果たすことができる。
事業の内容 (手段)	【事業概要】 動物園を交流拠点施設として、また、社会教育施設として、管理運営を図ります。 【主な内容】 入園者の受付、駐車場の整理、予算管理執行、開園のための勤務体制の確保、施設の維持・保守点検、事業を告知するための広告宣伝、入園料収入以外の財源の確保		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度
					目標値	実績値	達成度(%)
徳山動物園の入園者数	年間延べ人数	人	人	目標値	300,000	320,000	300,000
				実績値	308,265	266,680	
				達成度(%)	102.8%	83.3%	

事業 費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
			直接事業費	千円	77,030	80,177	87,577
(予算額)	うち一財	千円	45,354	48,275	47,405	24,408	48,000
(決算額)	直接事業費	千円	74,537	79,027		対29年度増減理由	対30年度増減理由
	うち一財	千円	48,238	52,721		光熱水費、人件費等を実績に併せて、見直しを図ったため。	
正職員人件費	千円	19,105	22,494				
人工数	人	2.58	3.07	4.15			
支出コスト	千円	決) 93,642	決) 101,521				

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	入園者数は、昭和35年の開園以来、年々増加していたが、徐々に減少した後、増加と減少を繰り返している。平成27年度は、新施設の事業開始もあり30万人を越えたものの、平成28年度は、悪天候の影響等により目標値を大きく下回る結果となる。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 入園料の改定を機に「入園者数の増加」より「入園料とその他の事業収入の増収」に重点を置いた運営に転換している。そのため、目標の変更を検討する時期に来ている。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	①平成29年10月1日より入園料の改定を行い増収を図る。 ②新たな事業(寄付制度の確立等)による収入増を図る。 ③予算、開園日等の見直しによる必要経費の削減を図る。 ④入園者の利便性が向上する新サービス(食堂・売店の改修、庁内連携、地域団体との連携)を実施する。	評価責任者コメント	入園料の改定により入園料以外の収入増に向けて、新たな取り組みを図り、運営経費の見直しによる削減を行い、安定的な入園料を確保できる体制づくりをしていく必要がある。併せて、従来通りの交流拠点施設、社会教育・環境教育施設としての役割を果たすことも必要である。

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考
①入園料の改定(平成29年10月1日)による一年間を通しての入園料収入増の効果を見込む。 ②H29年度より直営にした園内の清掃委託業務が、経費節減とイメージアップの効果をもたらしたため継続する。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	施設管理業務	観光交流施設として入園者の増加を図る。	園内施設管理事務(予算管理、臨時職員雇用、駐車場整理)	62,729 否	1.98	0.60	
②	窓口入園券発売業務	入園者に快適に過ごしていただくための対応を行う。	入園券の発行、入園案内、観光情報等の提供、入園料収入以外の財源の確保	7,095 否	0.34	3.10	
③	環境整備業務	観光交流拠点として、快適で安全な施設の維持管理を行う。	園内環境の整備、管理実施	4,730 否	0.24	2.00	
④	各種契約業務	安全な施設の維持管理を行う。安心安全な低コストの飼料を安定的に確保する。	施設管理等の委託契約、堆肥化プラントの活用	147 否	0.33	0.00	
⑤	入園者増加対策業務	動物園全体として魅力ある取組みを広報することで、来園者の増加を図る。	行事等の広報活動、効果的な情報提供のための手段等の検討	4,326 否	0.18	0.10	

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	812014	事務事業名	動物園教育普及事業		
担当部・課名	経済産業部 動物園	評価者 (課長)	三浦 英樹	評価責任者 (部長)	弘中 基之

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	701003	分野	7産業・観光	事業の分類	(経常的事務事業)
	基本施策	10観光・コンベンション等による交流の推進			補助・単独の別	単独
	推進施策	(3)魅力ある動物園の推進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	「周南市を含む近隣住民」。特に徳山動物園に入園した方、動物園の情報を得た方	事業の目的 (意図)	幼児・児童をはじめとする入園者等が「自然環境」・「いのち」について体験し、学ぶことができる。
事業の内容 (手段)	【事業概要】未来を担う子どもたちを育てるために、命あふれる動物園で、子どもたちが生き物について、学習し体験する機会を提供します。 【主な内容】各種コンクールの開催、歳時記的行事の実施、団体向け動物ふれあい体験、動物園学習支援ボランティアのサポート、学校と連携した総合学習、職場体験への取り組み、動物展示館を利用した企画展示の開催、骨格標本や剥製など標本資料の収集		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度
					目標値	実績値	達成度(%)
教育イベントの延べ参加者数等	参加者数等		人	目標値	15,000	15,000	15,000
				実績値	15,076	14,379	
				達成度(%)	100.5%	95.9%	

事業費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	直接事業費	千円	912	900	1,741	1,180	1,200
(予算額)	うち一財	千円	0	0	0	0	0
(決算額)	直接事業費	千円	870	718		対29年度増減理由	対30年度増減理由
	うち一財	千円	0	0			
	正職員人件費	千円	28,213	25,571			
	人工数	人	3.81	3.49	2.03		
	支出コスト	千円	決) 29,083	決) 26,289			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	子ども達が生き物と接する機会が、今後、減少していくと予想される社会変化の中、命や自然へ対する概念が未発達であることは、社会的にも問題視されている。このことより、動物園が命と接する機会を提供していくことは、今後も重要になっている。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 職員は、教育活動を進める中で、指導者として実施者に任せているところがあるので、マニュアルを作成し、研修会を行うなどして学習目標の共通理解を進める必要がある。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(根本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	入園者からのニーズ、学校からの要望などに対応していくためにも、学習内容の明確化、業務実施手法の見直しを図り、わかりやすい業務体系を整備する。また、入園者へガイドなどを行うことを念頭においたボランティアの養成を図り、その活動で学習効果を向上させる。	評価責任者コメント	命の学習、環境学習の場として動物園の役割は、年々大きくなってきている。今後においては、レクリエーション機能を持ちながら、学習機会も提供できるような事業の調整を行う必要がある。そのためには、動物園待望の自然学習館の有効活用や、飼育員の生の声を届けることなどに取り組んでいく必要がある。

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考
①秋の絵画コンクールに代わり、マスコミと企業と連携し、集客力を持つような新しいワンデイ型イベントを企画する。 ②自然学習館を拠点にした小学校高学年向けの学習プログラムを開発し、利用促進を図る。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	各種コンクール実施	動物をじっくり観察する機会を提供し、動物への興味を喚起する。参加者1,800人	絵画コンクール、粘土工作コンクールなどの主催開催 参加者1,626人	52 否	0.30	0.00	
②	動物園ボランティアの調整	ボランティアによる学習支援を促進させ、学習効果の向上を図る。延べ活動回数450回	ボランティアの実施、研修、連絡調整等延べ活動回数206回	49 否	0.22	0.00	
③	歳時記イベント実施	季節ごとにニュース性のある行事を実施する。行事の開催数12回	さまざまな歳時記的イベントや時代に対応した新しい事業の実施 17回	132 否	1.04	0.20	
④	学習体験関連業務(職場体験・実習など)	いのちの学習や職業感の醸成の機会を提供する。年間延べ受入人数60人	実習の受け入れ、ゲストティーチャー、講演、サマースクールなどの実施 619人	199 否	0.39	0.00	
⑤	学芸業務(展示・解説・資料管理など)	学習に供する動物の標本収集や整理管理を行う。標本作製10個、貸出回数10回	剥製の作成、骨格などの標本作製、標本の整理管理 作製0個、貸出10回	86 否	0.84	0.04	
⑥	ミニZOO・ちよこつとアニマル	動物とのふれあいを通じた体験学習の機会を提供する。100回5,000人	ふれあいまニ動物園の派遣、団体を対象とした動物体験の受付実施 58回2,248人	200 否	0.70	0.34	

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	812017	事務事業名	動物園飼育事業		
担当部・課名	経済産業部 動物園	評価者 (課長)	三浦 英樹	評価責任者 (部長)	弘中 基之

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	701003	分野	7産業・観光	事業の分類	(経常的事務事業)
	基本施策	10観光・コンベンション等による交流の推進			補助・単独の別	単独
	推進施策	(3)魅力ある動物園の推進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	徳山動物園の飼育動物	事業の目的 (意図)	展示動物を健康に飼育管理することで、動物園が維持される。動物の繁殖を進めることで、動物の子育ても観察できる。
事業の内容 (手段)	【事業概要】動物を健康的に飼育管理するとともに、動物の繁殖や購入等により、継続的展示の状態を確保します。 【主な内容】飼育・衛生管理、診療・治療、繁殖推進、調査研究、飼料の確保調達、調教・飼育技術の向上		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度
					目標値	実績値	達成度(%)
繁殖推進種繁殖率	繁殖推進種繁殖種数/繁殖 推進種数		%		29	29	30
					31	36	
					106.9%	124.1%	

事業 費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	直接事業費	千円	32,229	33,911	35,533	41,018	36,000
(予算額)	うち一財	千円	0	0	0	0	0
直接事業費	千円	35,750	32,445	35,533	対29年度増減理由	対30年度増減理由	
(決算額)	うち一財	千円	0	0			
正職員人件費	千円	74,420	61,913		新ゾウ舎のオープン に向けてのゾウの移 送箱の作成等によ る。		
人工数	人	10.05	8.45	9.84			
支出コスト	千円	決) 110,170	決) 94,358				

【評価】 Check

課題・ 問題・ 評価等	事業開始 からの 推移	動物の飼育繁殖は、動物園の維持管理において不可欠である。特に、ゾウなどの希少動物は、適正に飼育されているか注目されている。このため、現場ではチームによる飼育担当制を導入し、毎年、作業体制の見直しを図りながら業務の遂行を行っている。		課題・ 問題点	□ 妥当性 □ 有効性 ■ 効率性
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的見直し、廃止の検討)		動物の高齢化、繁殖に供する個体の導入困難や種類の減少、リニューアル工事を進める中での飼育スペースの確保など、動物繁殖を推進するための環境を整備改善していく必要がある。
	事務事業 の方向性	動物園として、動物導入のハードルが高くなる中で、動物園業界内での信用の確立が動物の確保につながるため、飼育繁殖技術の確立と向上に努める。新設の野鳥観察所で展示する鳥類については、積極的に繁殖に取り組む。		評価 責任者 コメント	希少動物の導入が困難な状況の中、当園では、アミメキリンの繁殖に昨年連続して成功し、一定の成果を上げている。引き続き、飼育員の技術を向上させ、繁殖に取り組む、プリーディングローンについて、その取り組みを市民にも紹介していく。

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考
平成31年度に一部オープン予定の新ゾウ舎の課題の一つである「ゾウの移送にかかる移送箱2台」の経費について、1台は作成するものの、残り1台は借用することで、経費節減に努めることができた。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	動物の飼育管理業務	飼育動物を健康的に飼育管理する。繁殖推進種での繁殖種数割合を3割以上。	動物舎の清掃、給餌、動物観察	7,786 否	6.01	1.10	
②	飼料準備に関する業務	飼育動物の飼料を予算内で確保する。	飼料の発注管理、適正給餌	22,841 否	0.46	0.40	
③	動物舎の施設維持管理業務	飼育施設の維持管理を行い、動物の脱出や事故を防止し、安全な飼育管理を行う。	施設の点検、修繕	116 否	0.47	0.21	
④	飼育に関する調査研究業務	飼育技術を向上する。	飼育技術に関し、研究会などに出席	744 否	0.48	0.06	
⑤	動物移動・飼育許可の調整業務	動物飼育に関する手続きを適切に実施する。	随時申請、動物の導入に関し他園との連絡調整	0 否	0.00	0.00	
⑥	獣医師業務	動物を健康に保つように獣医師衛生管理や診療治療を行う。	診療、検査、投薬、記録	685 否	0.88	0.00	
⑦	動物の仮設舎への移動	建設予定地内で飼育している動物を適切に移転させる。	リニューアル事業における飼育動物の移動、仮飼育施設の準備	273 否	0.15	0.00	

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	812032	事務事業名	動物園魅力拡大「ズー夢アップ21」実施事業費			
担当部・課名	経済産業部 動物園	評価者 (課長)	三浦 英樹	評価責任者 (部長)	弘中 基之	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	701003	分野	7産業・観光	事業の分類	(経常的事務事業)
	基本施策	10観光・コンベンション等による交流の推進			補助・単独の別	単独
	推進施策	(3)魅力ある動物園の推進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	「周南市を含む近隣住民」特に徳山動物園に入園した方、又は、動物園の情報を得た方	事業の目的 (意図)	周南の里ふれあいゾーン(るんちゃ♪るんちゃ)での魅力的なソフト事業の展開により、更なる入園者数の増加を図る。
事業の内容 (手段)	【事業概要】 周南の里ふれあいゾーンのオープンに合わせ、「見るだけ」の動物園から「ふれあう、体験する」という新しい形の動物園の運営に取り組みます。 【主な内容】 全天候下での小動物ふれあい体験、体験プログラム(ばくばくタイム、フライトショー、飼育体験)の実施、投げエサ販売による入園者と動物との関わりづくり、ICT-ZOO事業の推進、企画づくり推進のための職員育成		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度	
					目標値	160,000	190,000	220,000
					実績値	170,517	241,069	
					達成度(%)	106.6%	126.9%	

事業費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	直接事業費	千円	77,030	14,398	16,173	15,592	16,200
(予算額)	うち一財	千円	45,354	1,508	0	0	0
直接事業費	千円	74,537	13,780		対29年度増減理由	対30年度増減理由	
(決算額)	うち一財	千円	48,238	6,256			
正職員人件費	千円	19,105	26,890				
人工数	人	2.58	3.67	4.53			
支出コスト	千円	決) 93,642	決) 40,670				

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	多くの体験プログラムを実施したり、動物やイベントの情報を発信することで、年々、来園者と動物の距離感を縮めることができている。特に、ゾウなどの新規導入動物や「るんちゃ♪るんちゃ」の効果で、体験利用者が増加している。		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 安定した入園者数を確保するため、切れ目のない情報発信をするとともに、体験サービスの内容を常にブラッシュアップする必要がある。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	新しいふれあいゾーン「るんちゃ♪るんちゃ」のオープンを皮切りに、「見るだけ」の動物園から「ふれあう、体験する」という新しい形の動物園として充実した利用形態を整える。事業目標の設定については、体験を重視したものと変更する。		評価責任者コメント	新施設である「るんちゃ♪るんちゃ」や野鳥観察所など、全天候型のいつでも体験できるサービスを有効に活用し、更に楽しめる体験型の動物園を目指すことで、団体での利用の促進にもつなげていく必要がある。

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など) これまで主に低学年の小学生が対象となっている既存のプログラム内容を見直し、子どもから大人まで来園者の誰もが楽しめる新しい体験型のプログラムを実施し、サービスの向上に努め、入園者数の増加や歳入の確保につなげる。	備考
---	----

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	周南の里ふれあいゾーン運営業務	全天候対応型の新規ソフト事業の展開により、更なる入園者の増加につなげる。	小動物とのふれあい体験	9,550 否	0.42	1.80	
②	ズーわくわくサンデー	さまざまな動物体験を実施して顧客満足度の向上を目指す。体験者数60,000人。	体験プログラム(ばくばくタイム、フライトショー、飼育体験)の実施168,342人	1,194 否	1.07	0.55	
③	動物情報の発信業務	動物情報を、詳しくマスコミなどに提供し、広報してもらう。取材数年間100回。	マスコミへの詳細な情報の提供、取材受け入れへの調整	384 否	0.91	0.20	
④	投げエサの販売	投げエサを販売し、エサやりの体験を提供する。体験者数60,000人。	投げエサの販売 42,258人	1,194 否	0.00	0.60	
⑤	ホームページなどの維持管理	動物園情報を随時発信する。	ホームページの作成、管理、更新	76 否	0.46	0.00	
⑥	無料開園・夜間開園	付加価値を付けた開園形態で、入園者の増加を図る。年間入園者の10%の入園者。	夜間開園の実施、周知、無料開園については見直した	384 否	0.77	0.10	
⑦	ICT-ZOO事業	ICT技術を用い、新たな動物園の魅力を発信する。	ICT技術を使ったサービスの構築	998 否	0.04	0.00	

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	812039	事務事業名	動物園リニューアル事業		
担当部・課名	経済産業部 動物園	評価者 (課長)	三浦 英樹	評価責任者 (部長)	弘中 基之

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	701003	分野	7産業・観光	事業の分類	(経常的事務事業)
	基本施策	10観光・コンベンション等による交流の推進			補助・単独の別	補助
	推進施策	(3)魅力ある動物園の推進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	動物園施設	事業の目的 (意図)	ふれあい舎に続き、自然学習館と野鳥観察所の利用が可能となり、さらなる入園者数の増加が期待できる。
事業の内容 (手段)	<p>【事業概要】施設の老朽化に対し、計画的なリニューアルを行い、動物にも人にもやさしい動物園を構築します。H28年度は北園に自然学習館、野鳥観察所の工事や、南園で新たなゾウ舎建設のための造成工事を進めます。</p> <p>【主な内容】リニューアルに係る補助金関係事務、入札手続き、工事監理・打合せ、中間及び完了検査等、自然学習館、野鳥観察所(H29年度オープン予定)の建築工事(北園)、ゾウエリア整備に伴う解体等整備工事(南園)</p>		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名 (補助事業費ベース)	指標説明 執行割合	単位 %	年度	27年度	28年度	29年度
				目標値	13.6	28.9	40.1
				実績値	13.6	28.9	
				達成度(%)	100.0%	100.0%	

事業費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	直接事業費 (予算額)	千円	209,387	843,532	611,021	537,844	319,200
	うち一財	千円	66,887	79,032	78,521	97,698	50,850
直接事業費 (決算額)	千円	139,533	434,041		対29年度増減理由	対30年度増減理由	
	うち一財	千円	63,835	74,571			
	正職員人件費	千円	3,554	2,491		予算の大部分が工事請負費であり、各年度で予定されている工事の金額に差異があるため。	
	人工数	人	0.48	0.34	1.09	予算の大部分が工事請負費であり、各年度で予定されている工事の金額に差異があるため。	
	支出コスト	千円	決) 143,087	決) 436,532			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成21年度に基本計画を策定し、平成25年度より整備に着手し、平成26年に北園駐車場を供用開始した。ゾウ導入に伴い、平成27年度に基本計画の見直しを行い、「るんちゃ♪るんちゃ」をオープンした。平成29年秋には自然学習館等のオープンを予定している。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 事業費が大きく、長期的なプロジェクトであることから、継続かつ事業の進捗に沿った安定的な財源確保が大きな課題である。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	コスト削減に向けた工法や最適な工事スケジュールを組み立てる必要がある。	評価責任者コメント	動物園のリニューアル事業は、交流人口増加のための最大の切り札であり、多くの人の期待を背負った夢ある事業である。今年度から南園最大の事業となる「新ゾウ舎の整備」を始める。今後も各施設を順次オープンし、毎年、動物園へ足を運んでもらうための楽しみを提供していく必要がある。

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考
平成31年度の南園のアジアの熱帯雨林ゾーン(ゾウエリア)の部分オープンに向けてコスト削減を図った上で整備を進め、更なる魅力増進を図る。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	北園 自然学習館建設工事等	計画的なリニューアルを行い、動物にも人にもやさしい動物園を構築する。	北園の自然学習館、野鳥観察所(H29年度オープン予定)の建築工事	331,644 否	0.07	0.00	
②	南園 ゾウエリア実施設計業務等	計画的なリニューアルを行い、動物にも人にもやさしい動物園を構築する。	南園のゾウエリア整備に伴う実施設計及び解体等整備工事	101,165 否	0.26	0.00	
③	事業補助申請関連業務等	全国初となる動物園の補助事業(社会資本整備総合交付金)を進める。	社会資本整備総合交付金の申請等	1,232 否	0.01	0.00	
④							
⑤							

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	812035	事務事業名	基金管理事業			
担当部・課名	経済産業部 動物園	評価者 (課長)	三浦 英樹	評価責任者 (部長)	弘中 基之	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	701003	分野	7産業・観光	事業の分類	(経常的事務事業)
	基本施策	10観光・コンベンション等による交流の推進			補助・単独の別	単独
	推進施策	(3)魅力ある動物園の推進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	「ぞうさんの夢基金」の趣旨に賛同いただける市内外の方	事業の目的 (意図)	動物園運営に関して市民等からの財政的支援と、動物購入時における経費の平準化を図る。
事業の内容 (手段)	事業のPRを含めて園内等に募金箱を設置し、募金を募り、「ぞうさんの夢基金」へ積み立てる。		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度
					目標値	3,500,000	4,000,000
	ぞうさんの夢基金	基金積立額	円	実績値	3,892,439	4,455,634	
				達成度(%)	111.2%	111.4%	

事業 費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	2	2	2	2
うち一財		千円	0	0	0	0	0
(決算額)	直接事業費	千円	530	563		対29年度増減理由	対30年度増減理由
	うち一財	千円	0	0			
	正職員人件費	千円	296	293			
	人工数	人	0.04	0.04	0.06		
	支出コスト	千円	決) 826	決) 856			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成24年徳山商工会議所青年部による「ぞうさんプロジェクト」の立ち上げを受けて、ゾウ導入のための募金活動が開始された。その一方で、市は「ぞうさんの夢基金条例」を制定し、今後の動物導入の財源確保を図る体制を確立した。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 今後の動物購入のためには動物園を広くPRし、財源確保を図る必要がある。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	この基金の目的はゾウに限らず、これから飼育を続けるために必要な動物を購入するものであり、継続して管理を続けていく必要がある。	評価責任者コメント	動物購入における厳しい現状も含めて、購入可能な動物種については、「ぞうさんの夢基金」を効果的に活用し、適切な対応をすることで、機会をとらえた動物の確保を進めていきたい。そのためにも、「ぞうさんの夢基金」の趣旨をしっかりPRして、少しでもこの事業の賛同者を増やしていきたい。

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考
特になし。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	基金管理業務	適切な事務処理を行い基金への積み立てる。	基金の活用事務	563		0.02	0.00
				否			
②	基金受入業務	動物導入に必要な財源確保への関心を高めるため、PR等を行い、財源確保を図る。	動物園内での募金箱の設置及び募金の受入対応事務	0		0.02	0.00
				否			
③							
④							
⑤							